

# 農林水産業・食品産業に関するESG地域金融 「モデル事例集」

---

令和8年3月  
農林水産省

## まえがき - 本モデル事例集について

---

近年、持続可能な経済社会づくりに向けた動きが急速に拡大する中、農林水産・食品の分野においても、持続的な食料システムの構築に向けて、調達、生産、加工・流通、消費の各段階における行動変容やカーボンニュートラル等の環境負荷軽減のイノベーション創出が推進されています。

農林水産省では、こうした動きを後押しする地域金融機関（地方銀行、信用金庫、信用組合、農漁協系統金融機関等）の役割を重視し、「農林水産業・食品産業に関するESG地域金融実践ガイドンス」を通じ、地域金融機関との対話などを図りながら、ESG地域金融の推進に取り組んでいます。

本モデル事例集は、

- ① 農林水産業・食品産業の事業者は、地域金融機関からの支援を通じてESGを考慮した経営を実践し、（中長期的な）経営課題の解決へつなげることができる
- ② 地域金融機関は、農林水産・食品の分野において、課題解決の具体的なイメージをもって事業者アプローチを行い、その後の資金・経営相談を含めた伴走支援を通じて自身のメリットにもつなげることができる

という好循環を生み出す取組について、個別の地域金融機関及び一次産業・食品産業分野の事業者へのヒアリング調査を通じて把握し、これを「モデル事例集」として取りまとめたものです。

地域金融機関におかれては、令和3・4年度公表の事例集とあわせ本モデル事例集も参考に、農林水産業・食品産業に関するESG地域金融の実践に役立てていただければ幸いです。

農林水産省 経営局 金融調整課

# 目次

モデル事例のポイント	4
モデル事例の概要	6
モデル事例1：データ駆動型農業導入による栽培環境改善と収量・品質の向上（伊予銀行）	10
モデル事例2：GAP認証取得による米輸出と地域伝統野菜の6次産業化（愛知県信連）	15
モデル事例3：スマート農機の導入による化学肥料使用量の削減（北見信用金庫）	20
モデル事例4：国産飼料の積極利用、肥育舎新設等による労働負荷の軽減・収益性の向上（青森銀行）	25
モデル事例5：飼料の自給化と耕畜連携による地域資源循環（西日本シティ銀行）	30
モデル事例6：養殖業（ブリ・マダイ等）の委託生産・デジタル化と海外輸出の拡大（愛媛銀行）	35
モデル事例7：ワイン製造業者によるブドウ農園の事業承継と製品のブランド化（山梨中央銀行）	40
モデル事例8：オリーブで地域を元気にする地域循環共生圏（ローカルSDGs）の取組（もみじ銀行）	45
モデル事例9：地域ブランド確立を通じた環境・社会への貢献支援（長野県信連）	50
モデル事例10：搾乳ロボット・バイオマス廃棄物処理システムを導入した酪農法人の設立支援（山口県信連）	55
モデル事例11：環境制御システムの導入によるハウス管理の効率化支援（伊達信用金庫）	60
その他の特徴的な事例	
①：JA・信用金庫・自治体が協働し、飲食事業者の事業再構築を支援（JAふくおか嘉穂、飯塚信用金庫）	63
②：食品加工事業者の事業再構築支援により地域内の経済循環を強化（桑名三重信用金庫）	64

注 これらの事例については、インパクトの定量化など精緻なESG評価を行っているか否かに関わらず掲載している。  
また、内容の正確性、適切性等について農林水産省が保証や認定を行うものではない。  
なお、各事例のページに掲載している写真は、各金融機関や事業者より提供いただいたものである。

## 事例11 事業者：地域の農業者 金融機関：伊達信用金庫

### 環境制御システムの導入によるハウス管理の効率化支援

#### ― 設備投資への支援により、CO<sub>2</sub>濃度管理と収益性向上・労働負荷軽減に向け支援

##### 農業者の概要

- 伊達信用金庫の支援先のうち、2農業者を事例紹介。
- 2名の農業者はいずれも、ハウス野菜を中心とした施設園芸農家で、A氏は施設園芸農家で、きゅうり、メロン、なす(環境制御システムを導入)、露地ではブロッコリー、スイートコーンを栽培。B氏も施設園芸農家で、トマト(環境制御システムを導入)を栽培。
- 作物の収量向上や労働力不足に対応するため、金庫に相談後、A氏、B氏ともに、環境制御システムを導入した。(燃烧式暖房、燃烧式CO<sub>2</sub>、送風・温風ファン、自動開閉装置、日射比例灌水装置、循環扇など)

##### 金融機関の対応（伊達信用金庫）

- 伊達信用金庫には、農業者の経営課題解決の窓口として、令和3年4月にアグリサポート担当（現アグリソリューション推進室）を設置。農業技術指導の専門家（北海道職員OB）を配置。
- A氏は、金庫主催の農業セミナー（年1・2回不定期開催）に令和4～5年参加、その後営業店を通じて環境制御システムの導入相談対応。B氏は、金庫のアグリサポート担当に収量および品質向上を図るため相談し、環境制御システムを導入。令和6年から技術コンサルを開始。
- 金庫では、地域農業において、①作物の収量・品質の低下、②高齢化による人手不足を重要課題と捉え、資金提案やデモンストレーションハウスを設置。

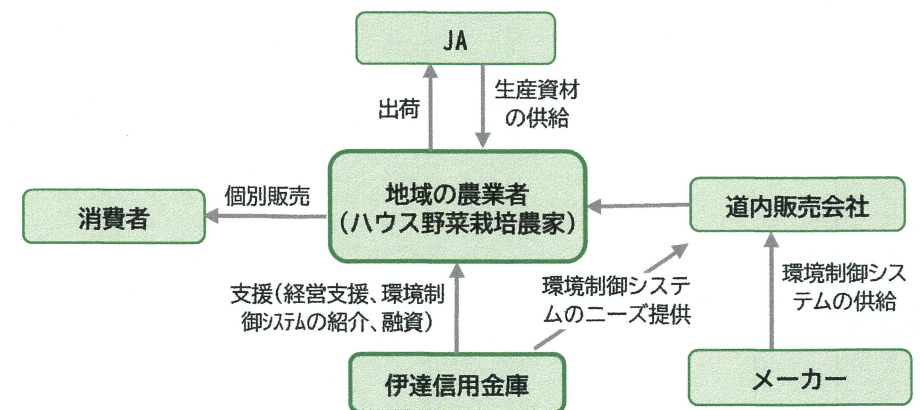
##### 持続可能な地域の実現につながるポイント

（農業者の持続的な成長）

- 環境制御システムのうち、自動開閉装置は、天気の変化やハウス内の環境要因に応じて側窓や天窗、カーテンの開閉、暖房、灌水などを自動で制御するため、作業の省力化につながっている。さらに、ハウス内のCO<sub>2</sub>濃度を外気と同じ400ppm(内外のCO<sub>2</sub>濃度差をゼロ)にして施用する方法をとることで、光合成を促進するためのCO<sub>2</sub>の供給をコントロールし、収量がA氏は2.1倍(なす)、B氏は1.3倍(トマト)に増加
- 環境制御システムの導入により、ハウス野菜栽培の経験年数が浅い農業者であっても適切なハウス内の栽培環境が、携帯タブレットにより管理可能になるとともに、これまで経験に基づいて行っていた作業(温度や灌水など)が自動化され、労働負荷が軽減。

（環境・地域社会への波及効果）

- 暖房燃料費用の効率化により、環境負荷を低減。
- 伊達信用金庫の取組をきっかけに、地域内外の農業者においても環境制御システムの導入が拡大



# 事例11 事業者：地域の農業者 金融機関：伊達信用金庫

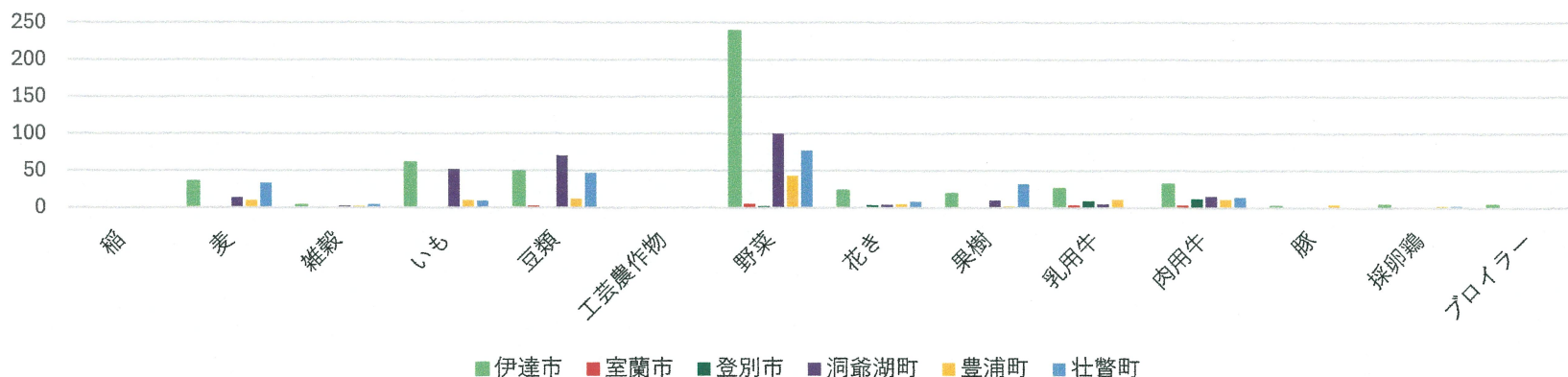
## 取組の背景

事業者を取り巻く環境

いぶり  
西胆振地域の作目ごとの経営体数の状況

- 西胆振地域（伊達市、室蘭市、登別市、洞爺湖町、豊浦町、壮瞥町）においては、冬も比較的温暖な気候に恵まれ、山間部の一部を除いて積雪量が少ないなど年間を通じて恵まれた気候となっている。その中でも、伊達市においては、特産のキャベツを中心に野菜生産の経営体が多い。

西胆振地域の作目ごとの経営体数(令和2年)

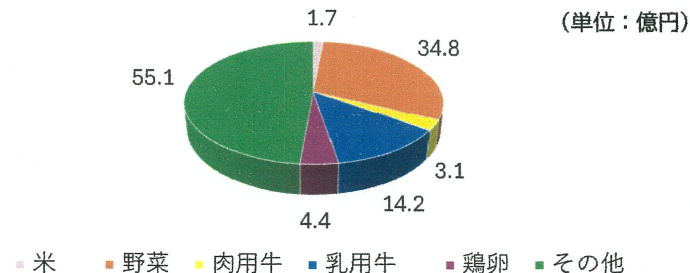


出所：農水省「農林業センサス」

伊達市内の作目ごとの農業産出額の状況

- 野菜の経営体が多い伊達市について、作目ごとの農業産出額においても、野菜が最も多くなっている。
- 農業に適した気候や土壌により、露地栽培・ハウス栽培ともに盛んに行われており、根菜類、果菜類、葉菜類、淡色野菜、緑黄色野菜、芋類など、一年中さまざまな野菜が収穫されている。

作目ごとの農業産出額(令和5年、伊達市)



出所：農水省ホームページ「市町村の姿グラフと統計でみる農林水産業」

# 事例11 事業者：地域の農業者 金融機関：伊達信用金庫

## 地域金融機関による支援体制

### 金融機関の支援体制と工夫

#### 本部・営業店間の連携

- 農業者の経営課題を支援するため、本店にアグリサポート担当を配置。営業店と連携し、農業者のニーズに応じた解決策を検討・支援
- A氏は、金庫のアグリバーシックスセミナー（農業セミナー）参加→営業店融資担当者へ相談→アグリサポート担当と連携→環境制御システム導入→栽培コンサルティング実施
- B氏は、アグリサポート担当へ課題解決のための支援要請→営業店融資担当者へ相談し環境制御システムの設備資金実行→環境制御システム導入→栽培コンサルティング実施

#### 農業者および環境制御システム販売会社との三者間での連携

- 農業者への支援を進めるにあたり、地域内における環境制御システムの導入ニーズを把握し、連携先である同システムの販売会社に農業者を紹介

#### 支援経験の活用

- 伊達信用金庫アグリサポート担当は、地域の農業者の経営課題解決を支援することを目的としており、環境制御技術の普及はその支援活動の一つとして位置づけ、その経験を活かして農業者の要望に対応

### 金融機関が得られたメリット

#### 農業分野の支援を通じた関係構築

- 農業者への支援を通じて、地元農業者との交流および道内各地の農業者との関係性が深耕
- 環境制御システム導入に加え、農業者へのコンサルティング業務へと支援内容を拡大
- 環境・経済・社会に関する課題の解決に向けた取組を通じ、地域の活性化に貢献

- ✓ 当金庫の取組を参考に石狩、上川、空知、日高管内の農業者が環境制御システムの導入に至っています。
- ✓ 令和7年9月には、他信用金庫が地域産業振興の手段として検討するため、当金庫を視察に訪れるなど、環境制御システムを利用した施設園芸への注目度が高まっていると感じています。
- ✓ A・Bさんを除いた環境制御システム導入農家およびそれ以外の農家も含めて、コンサルティング支援が拡大しています。



伊達信用金庫



なす栽培の様子



セミナーの様子